

## 第 25 回夏季デフリンピック競技大会(水泳)日本代表選手・スタッフ選考基準

2024年12月選考委員会決定

2025年5月詳細説明追加

### 1 基本方針

全ての種目において、デフリンピック参加標準資格を満たしている者の中から、どのような環境におかれても、自己管理ができ、最大のパフォーマンスを発揮できる選手を選考することを基本とする。また、競技成績に加えて、全日本ろうあ連盟への会員登録及び(一社)日本デフ水泳協会への競技会参加会員及び支援会員登録をし、かつ編成方針を遵守できる選手、スタッフを選考する。

### 2 選考の対象となる競技会(選手)

※リレー種目(100m種目のみ)

2025年4月13日(日)の2025パラ春季チャレンジレース:静岡県富士水泳場

※個人種目

2025年6月29日(日)の第28回日本知的障害者選手権水泳競技大会:横浜国際プール

上記の競技会のみを選考の対象とする。デフリンピックへの出場を目指す選手は、原則として上記二つの競技会には必ず出場し、別添の派遣標準記録を突破すること。

### 3 選考手続き

選考委員会が、2025年6月29日(日)第28回日本知的障害者選手権水泳競技大会終了後、速やかに、後記 選考基準を満たした選手から選考する。

### 4 選考基準

(1)個人種目 別表のデフリンピック派遣標準記録(以下「派遣標準記録」という)の記録を突破した選手を選考する。

(2)リレー種目 対象競技会において4人のタイムの合計が「派遣標準記録」を突破した場合、リレーに出場することを条件として選考委員会が選考する。

【2025東京デフリンピック代表選考基準について】 ※令和7年5月詳細説明追加

○デフリンピック代表選手に選考されるためには、6月29日開催の第28回日本知的障害者選手権水泳競技大会(以下「知的大会」という)において、JDSAのホームページに掲載されている「2025デフリンピック基準記録」を1種目以上突破すること(再掲)

○上記基準記録を突破した選手が、基準記録を突破できていないその他の種目にデフリンピックにおいてエントリーするためには、①知的大会、②4月13日に開催されたパラ春季チャレンジレース、③日本水泳連盟公認大会(ただし、令和7年4月1日から知的大会までに開催された大会に限る)のいずれかの大会において「2.8Competition Entry Standards(競技会参加基準)」のA標準記録を突破していなければならない

(以上大会でのエントリーについての説明を追加)

※なお、リレーでの選考は、上記②パラ春季チャレンジレースの記録により行うこととしている。

スタッフは以下①と②の基準を満たす者とする

①聴覚障害を配慮するとともに、自らの役割を適切に果たし、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートできる者

②健康面において派遣に支障がないと選考委員が認めた者

以上